

目次	<b>オカムラのCSR</b>	特集	環境データ集	戻る
CSR経営	クオリティの追求	地球環境への取り組み	よりよい職場づくり	社会との調和

## 第三者意見



オカムラガーデンコートショールーム(東京)にて

駿河台大学 名誉教授・博士 (経営学)  
MIZUO コンプライアンス&  
ガバナンス研究所 代表  
株式会社ダイセル 社外監査役  
**水尾 順一氏 (写真右)**

### 【プロフィール】

(株)資生堂から駿河台大学教授を経て、2018年3月末退職。現在に至る。日本経営倫理学会副会長、(株)西武ホールディングス企業倫理委員会社外委員、一般社団法人経営倫理実践研究センター首席研究員、2010年ロンドン大学客員研究員他。著書「サステイナブル・カンパニー〜「ずーっと」栄える会社の事業構想」(株)宣伝会議など多数

株式会社オカムラ(以下、同社)の「CSR Report 2018」について、企業でCSRの実務を推進し、大学でその理論構築をして「CSRの理論と実践の融合」を社会に促進してきた立場から、以下に第三者意見を申し述べます。

### ● 高く評価できる点:「時代が求めるCSRの重点課題」の解決に貢献する内容が、特集記事などを通して開示されています。

CSRには次のように2つの大きな領域があります。第一は、法的責任、経済的責任、倫理的責任、社会貢献活動など「普遍的な価値」である4つの責任です。第二はCSV(共益の創造)、SDGs(持続可能な開発目標)、ESG(環境、社会、ガバナンス)、人権・労働を重視する「働き方改革」など、「時代が求めるCSRの重点課題」です。

同社のCSRでは「オカムラのCSR7つの柱」としてこれらの領域をカバーし、CSR Report 2018でもその活動が開示されています。特に、特集1・2を通して「働き方改革」に焦点をあててその「実践」と「提案」が報告されています。

同社は、これまでオフィス家具業界のリーディングカンパニーとして、例えば「+Standing」による健康を重視した「働く姿勢」の提案などを通して「健康経営」を提案し、時代が求めるCSRの重点課題の解決に貢献してきました。今年度のレポートでも「ソダテルプロジェクト」「働き方カエル!プロジェクト」「サテライト+ラボ」オフィス戦略など、様々な働き方改革の「実践」を通じてそこから得られた「知」を蓄積し、新たな価値創造に向けた「提案」に結びつけていることが開示されています。また「オートストア」の提案でも物流の最

前線における、人からロボットストレージによる働き方改革に結びつけていることが理解されます。

### ● 今後に期待する点:新たなミッションの実現に向けた活動を期待します。

いま、日本では三方よし経営が注目を集めています。特集記事の働き方改革の「実践」と「提案」は視点を変えれば、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしにつながるものといえることができます。

働き方改革を実践することは、売り手よしで従業員満足(ES: Employee Satisfaction)を促進し、そのことを得意先に提案することは買い手よしで顧客満足(CS: Customer Satisfaction)を生み出します。その活動を社会に普及・啓発することが、世間よしで社会的責任(CSR)の実践です。そしてこれらの活動を一体化すれば、その頭文字をとって「ECSR」と表現することができます。

同社は、2018年4月1日に「株式会社オカムラ」に社名変更を実施し、「豊かな発想と確かな品質で、人が集う環境づくりを通して、社会に貢献する。」というミッションを明文化しました。今回のCSRレポート「人を想い、場を創る。」はその第一歩ともいえるものです。

今後ともオフィス家具業界のリーディングカンパニーとして、働き方改革のみならず、CSV、SDGs、ESGなど新たな価値創造に向けた「実践と提案」、さらには社会への普及・啓発に取り組み、「ECSRによる三方よし経営」の実現に結びつけられることを心から祈念します。

### 第三者意見を受けて

「CSR Report 2018」の発行にあたって、多くの分野のステークホルダーの皆様より貴重なご意見を多数いただき、それらのご意見を参考にした上で、持続可能な社会の構築に向けた、当社の取り組みを報告させていただきました。

水尾先生には、ご専門のお立場から忌憚のないご意見を頂戴し、お礼を申し上げます。当社の取り組みの進展に対して評価いただくとともに、「働き方改革を通じたCSRの実践」「CSV、SDGs、ESGなど新たな価値創出」に向けた取り組みなどについてご指摘をいただきました。これらは、当社のCSRを

軸にした経営をさらに前進させるための重要なご意見と認識し、取り組みへの反映に努めてまいります。

今後も、「CSR方針」ならびに「行動規範」に基づき、オカムラおよびグループ各社とその従業員が一丸となって、グローバル社会の一員として持続可能な社会の構築に向けた活動を行うとともに、「CSR Report」をはじめとする情報開示の充実に取り組んでまいります。

専務取締役 管理本部長 佐藤 潔 (写真左)